



# 府民の安全安心に万全尽くせ

## 25年度当初予算 防災対策費など100億円返上

## 一般質問で宗清皇一議員



質問する宗清議員

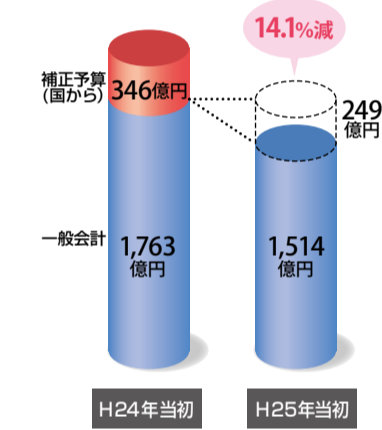
宗清皇一議員（東大阪市選出）は3月1日に開かれた2月定例府議会で一般質問に立ち、府が、国の緊急経済対策を十分にしていけないと指摘、防災・減災対策など府民の安心・安全に万全を尽くすよう理事者側を迫及した。咲洲地区の活性化に

### 緊急経済対策

●やらなければならぬ事業をやっていない

【宗清議員】平成25年度の当初予算を見ると、各事業部局の予算が軒並みダウンしている。これは国からの緊急経済対策のお金を府の財政再建に使っているようにしか見えない。今後30年間で南海トラフ地震が起こる確率は70%とも言われており、様々な防災対策、府民の安全安心に万全を尽くす必要があり、その中で府の役割は大きい。例えば、通学路の安全対策や防災・減災対策は喫緊の課題であり、公共事業は中小企業の育成、雇用の創出、経済対策に大きく寄与すると考える。25年度の建設事業の一般会計の予算を見ると、前年度比14.1%、額にして実に249億円

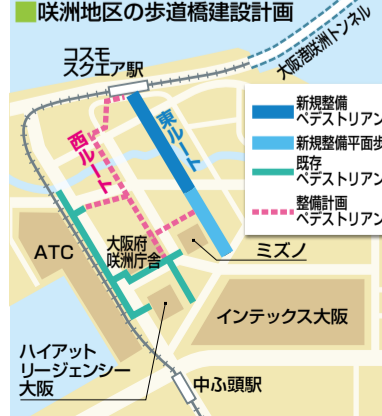
### 建設事業（一般会計）



【宗清議員】全く答弁になっていない。100億円程度返上している中で、部長が今言ったこと

は指摘していない。やらなければならぬ事業（橋梁補修費、高潮対策費、港湾防災費など）を返しているの、これ以上事業をする能力がないのか、やらなくてもいいのかと聞いています。この問題は委員会でも引き続き議論する。

【宗清議員】工程表に書いてあるのは全面無償化だ。2億円のお金を橋下さんが出し惜しみしているから無償化ができない。咲洲地区においてにはぎわいの創出、環境改善など、大阪府は21年から25年の5年間で100億円の事業をすると約束したが、



も触れ、アクセス改善とトンネルの無償化を訴えた。

【都市整備部長】防災・減災対策、維持管理、都市基盤の機能強化の3つに重点化し、国の緊急対策を活用した補正予算を当初予算と一体的に編成した。特に補正予算では最大限320億円程度を計上して前年度並みの水準を確保した。確かに25年度当初予算を24年度当初と比べると減額しているが、インフラ整備は測量設計や用地買収、地元調整など複数年をかけて継続的に進めるもので、1年限りの予算措置では後年度の財源負担といった観点もあり、休止事業の再開や新規事業の着手に対応できなかった。そういったなか可能な限り事業の前倒しを行い、早急に実施する必要のある防災・減災、維持管理、通学路の安全対策など重点的に精いっぱい予算化した。

【都市整備部長】インフラ整備事業はそれぞれの事業進捗に合わせて必要な事業費が年度ごとに異なる。例えば、一定事業の進捗が進んだ大和川線では25年度は必要額が少し減少し、連続立体交差事業は24年度補正予算で計上したためそれ以上当初予算で計上できなかったことも要因。引き続き、都市整備中期計画案をマネジメントし、今後新たに必要となる南海トラフ巨大地震への対応や将来の大阪に必要なインフラ整備については、財源確保などを庁内で議論する。

【宗清議員】工程表に書いてあるのは全面無償化だ。2億円のお金を橋下さんが出し惜しみしているから無償化ができない。咲洲地区においてにはぎわいの創出、環境改善など、大阪府は21年から25年の5年間で100億円の事業をすると約束したが、

【宗清議員】選挙と集中から咲洲のまちづくりは外れたという答弁ではないか。引き続き委員会でも議論する。

【宗清議員】平成25年度の当初予算を見ると、各事業部局の予算が軒並みダウンしている。これは国からの緊急経済対策のお金を府の財政再建に使っているようにしか見えない。今後30年間で南海トラフ地震が起こる確率は70%とも言われており、様々な防災対策、府民の安全安心に万全を尽くす必要があり、その中で府の役割は大きい。例えば、通学路の安全対策や防災・減災対策は喫緊の課題であり、公共事業は中小企業の育成、雇用の創出、経済対策に大きく寄与すると考える。25年度の建設事業の一般会計の予算を見ると、前年度比14.1%、額にして実に249億円

【都市整備部長】インフラ整備事業はそれぞれの事業進捗に合わせて必要な事業費が年度ごとに異なる。例えば、一定事業の進捗が進んだ大和川線では25年度は必要額が少し減少し、連続立体交差事業は24年度補正予算で計上したためそれ以上当初予算で計上できなかったことも要因。引き続き、都市整備中期計画案をマネジメントし、今後新たに必要となる南海トラフ巨大地震への対応や将来の大阪に必要なインフラ整備については、財源確保などを庁内で議論する。

【宗清議員】今の答弁では約束がほごされたか認めている。約束を守るように橋下市長に求めるべきだ。いつできるのか、議会に工程表を示せ。

【宗清議員】完成させることを約束しており、トンネルも無償化させるという約束ですから順次進めてもらえるようにこれから申し上げる。工程表は議会に示す。

【宗清議員】選挙と集中から咲洲のまちづくりは外れたという答弁ではないか。引き続き委員会でも議論する。

### 建設事業費府県別伸び率比較 (単位:億円)

	平成24年度 予算等 A	平成25年度予算 +緊急経済対策 B	増減 B/A
兵庫県	1,889	2,450	129.7%
奈良県	620	772	124.5%
静岡県	1,714	2,122	123.8%
福岡県	1,997	2,418	121.1%
和歌山県	1,269	1,488	117.3%
神奈川県	845	941	111.4%
大阪府	1,763	1,860	105.5%

【宗清議員】平成21年9月議会に平松前大阪市長に議場に求めた。咲洲地区の活性化を図るためのアクセス改善としてコスモスクエア駅から咲洲庁舎までのペDESTリアンデッキ(歩道橋)、東ルートは24年度末、26年に西ルートを用開始し、咲洲トンネルを無償化する約束された。これらは、経済界と府市3者の合意事項であり、橋下前知事が求めたものです。橋下前知事は、平松前市長に対して、公文書でアクセス改善についての工程表を提示させ具休化を約束させた。松井知事も橋下市長に公文書でアクセス改善の状況を確認しているが、デッキの整備については、東ルートはできていない、西ルートについては目処も立っていない。松井知事との約束はほごになっていない。咲洲トンネルの無償化については昨年8月の回答で、25年度の早い時期に実現すると言っておきながら、ふたを開ければ、土日祝日だけの無償化で実施時期も秋ごろになるとのこと。咲洲地区を特区として地方税減免など府市一体で進めていると言

【知事】東ルート道路横断部は24年度末に供用開始予定で、西ルートについては民有地も絡んでおり、現在民間と色んな話し合いをしている。

【知事】いろんな事業を進めていくには、様々な要素が絡み合っている。府と市の財政状況もそう。優先順位を考えなければならぬ。今すぐにやらなければいけない所と、まだ少し時間をいただける所と優先順位の判断をしながら、選択と集中で大阪府も大阪市も限られた予算を配分していく。

## 咲洲地区の活性化にアクセス改善とトンネルの無償化を実現せよ



**プロフィール**  
 宗清 皇一  
 昭和45年8月9日生まれ。龍谷大学文学部卒。民間企業勤務、塩川正十郎元財務大臣公設秘書。大阪府議当選2回。現在、自民党大阪府議団副政調会長、大阪府議会都市住宅常任委員長。マハトマ・ガンジーの「社会に与える7つの罪悪」を政治の論理基準にする。  
<http://www.hct.zaq.ne.jp/munekiyo/>